



## **Cisco Business Dashboard & Probe インストールガイド (VMWare 用)**

初版：2020年11月9日

### **シスコシステムズ合同会社**

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター  
0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.





## 目次

---

### 第 1 章

#### **Cisco Business Dashboard kOverview 1**

Cisco Businessダッシュボードについて 1

対象読者 2

関連資料 2

用語 3

Cisco Business Dashboard のシステム要件 4

Cisco Business Dashboard Probe のシステム要件 5

---

### 第 2 章

#### **Cisco Business Dashboard のインストール 7**

Cisco Business Dashboard ソフトウェアの取得および検証 7

VMWare への Cisco Business Dashboard のインストール 7

---

### 第 3 章

#### **Cisco Business Dashboard Probe のインストール 9**

Cisco Business Dashboard Probe ソフトウェアの取得および検証 9

VMWare への Cisco Business Dashboard Probe のインストール 10





# 第 1 章

## Cisco Business Dashboard kOverview

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Businessダッシュボードについて \(1 ページ\)](#)
- [対象読者 \(2 ページ\)](#)
- [関連資料 \(2 ページ\)](#)
- [用語 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Business Dashboard のシステム要件 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Business Dashboard Probe のシステム要件 \(5 ページ\)](#)

## Cisco Businessダッシュボードについて

Cisco BusinessダッシュボードにはCisco Business ネットワークを監視および管理するのに役立つツールが用意されています。Cisco Businessダッシュボードはネットワークを自動的に検出し、シスコのスイッチ、ルータ、ワイヤレスアクセスポイントなど、サポートされているすべてのCisco Business デバイスを設定および監視できます。また、ファームウェアアップデートのリリースや、保証対象外またはサポート契約での対象外となったデバイスについても知らせます。

Cisco Businessダッシュボードは、2つの独立したコンポーネントまたはアプリケーションで構成される分散型アプリケーションです。*Dashboard*とも呼ばれる主要なCisco Business Dashboardアプリケーションと、*Probe*とも呼ばれるCisco Businessダッシュボード Probeの1つまたは複数のインスタンスで構成されます。

Cisco Businessダッシュボードのシングルインスタンスがネットワーク内の使いやすい場所にインストールされます。*Dashboard*のユーザインターフェイスから、ネットワーク内のすべてのサイトのステータスを大まかに把握したり、単一のサイトまたはデバイスに集中して、そのサイトまたはデバイスに固有の情報を表示したりすることができます。

Cisco Businessダッシュボードプローブのインスタンスがネットワーク内の各サイトに1つずつインストールされ、*Dashboard*と関連付けられます。*Probe*はネットワーク検出を実行し、*Dashboard*に代わって各管理対象デバイスと直接通信します。

特定のネットワークデバイスのサポートは、*Dashboard*と直接関連付けられおり、プローブを介在させずに管理されます。この方法でネットワークデバイスが管理されている場合、デバイ

スに対してすべての管理機能を使用できますが、ネットワーク検出プロセスは、プローブを介在させる場合と比較して検索範囲が狭くなることがあります。

## 対象読者

このガイドは主に Cisco Business ダッシュボード ソフトウェアのインストールと管理を担当するネットワーク管理者を対象としています。

## 関連資料

Cisco Business ダッシュボード のドキュメントは、多数の個別のガイドで構成されています。それは次のようなものです。

- **設置ガイド**

次の表に、異なるプラットフォームに展開できるダッシュボードソフトウェアのすべてのインストールガイドを示します。詳細については、場所列に記載されているパスを参照してください。

対応プラットフォーム	所在地
VMWare vSphere、Workstation、Fusion	このマニュアル
Ubuntu Linux (Dashboard & Probe) および Raspbian Linux (Probe のみ)	<a href="#">Cisco Business Dashboard &amp; Probe インストールガイド (Linux 用)</a>
Amazon Web Services	<a href="#">Cisco Business Dashboard &amp; Probe インストールガイド (Amazon Web Services 用)</a>
Oracle VirtualBox	<a href="#">Cisco Business Dashboard &amp; Probe インストールガイド (Oracle VirtualBox 用)</a>
Microsoft Hyper-V	<a href="#">Cisco Business Dashboard &amp; Probe インストールガイド (Microsoft Hyper-V 用)</a>

- **クイックスタートガイド**：最も一般的に選択されるオプションを使用した Cisco Business ダッシュボードの初期セットアップ方法について詳しく説明します。『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。



- **アドミニストレーションガイド**：このソフトウェアが提供するすべての機能とオプションに関する詳細およびそれらの設定方法と使用方法に関するリファレンスガイドです。『[Cisco Business Dashboard アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。
- **デバイスサポートリスト**：このリストには、Cisco Businessダッシュボードにサポートされるデバイスの詳細と、各デバイスタイプで利用可能な機能が記載されています。Cisco Businessダッシュボードにサポートされるすべてのデバイスのリストについては、『[Cisco Business Dashboard：デバイスサポートリスト](#)』を参照してください。

## 用語

用語	説明
Hyper-V	Microsoft Corporation によって提供されている仮想化プラットフォーム。
Open Virtualization Format (OVF)	1 つ以上の仮想マシンが OVF 形式で格納された TAR アーカイブ。仮想マシン (VM) をパッケージ化および配布するための、プラットフォームに依存しない手段です。
Open Virtual Appliance/Application (OVA) ファイル	次のファイルを含むパッケージは、仮想マシンの説明に使用され、.TAR 形式のパッケージングにより 1 つのアーカイブに保存されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 記述子ファイル (.OVF)</li> <li>• Manifest (.MF) および証明書ファイル (任意)</li> </ul>
Raspberry Pi	Raspberry Pi 財団によって開発された、極めて低コストのシングルボードコンピュータ。詳細については、 <a href="https://www.raspberrypi.org/">https://www.raspberrypi.org/</a> を参照してください。
Raspbian	Raspberry Pi 向けに最適化された Debian ベースの Linux ディストリビューション。詳細については、 <a href="https://www.raspbian.org/">https://www.raspbian.org/</a> を参照してください。
VirtualBox	Oracle Corporation によって提供されている仮想化プラットフォーム。
Virtual Hard Disk (VHD)	ハードドライブの完全な内容を格納するためのディスクイメージファイル形式。
仮想マシン (VM)	ゲストオペレーティングシステムと関連するアプリケーションソフトウェアが動作可能な、仮想コンピューティング環境。同一のホストシステム上で同時に複数の VM を実行できます。

用語	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>• VMWare ESXi</li> <li>• VMWare V5</li> <li>• vSphere Server</li> <li>• VMWare Workstation</li> </ul>	VMWare Inc. によって提供されている仮想化プラットフォーム。
vSphere クライアント	任意の Windows PC から vCenter Server または ESXi に、ユーザがリモート接続できるようにするユーザインターフェイス。vSphere Client のプライマリ インターフェイスを使用して、VM、そのリソース、およびホストの作成、管理、およびモニタを行うことができます。VM へのコンソール アクセスも提供します。

## Cisco Business Dashboard のシステム要件

Cisco Businessダッシュボードは、VMWare 製品ファミリーからハイパーバイザにインポートするのに適した圧縮 OVF 形式の仮想マシン イメージとして配布されます。Cisco Businessダッシュボードでサポートされている VMWare ハイパーバイザは次のとおりです。

- ESXi バージョン 6.0 以降
- Fusion バージョン 11.5 以降
- Workstation バージョン 15.1 以降

以下の表に、管理対象デバイス数に応じた Cisco Businessダッシュボードに必要なコンピューティング リソースを示します。

表 1: Cisco Business Dashboard のコンピューティングリソース要件

#サポート対象デバイス	#vCPU	RAM	ディスク領域
最大 300	2	4GB	60GB
最大 2,500	12	24 GB	60GB

Cisco Businessダッシュボードは Web ユーザ インターフェイスを通じて管理されます。このインターフェイスを使用するには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Apple Safari (MacOS のみ) : 2 つの最新メジャーバージョン
- Google Chrome : 最新バージョン
- Microsoft Edge : 2 つの最新メジャーバージョン

- Mozilla Firefox : 最新バージョン



(注) Safari を使用している場合は、Cisco Businessダッシュボードプローブからの証明書が [常に信頼] に設定されていることを確認します。そうでないと、セキュア Web ソケットの使用に依存する特定の機能が失敗することが予期されます。これは、Safari Web ブラウザの制限です。

ネットワークで、Cisco Businessダッシュボードプローブのすべてのインスタンスが Cisco BusinessダッシュボードとのTCP接続を確立できる必要があります。使用するポートおよびプロトコルの詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』の「よく寄せられる質問」を参照してください。

## Cisco Business Dashboard Probe のシステム要件

Cisco Businessダッシュボードプローブは、VMWare 製品ファミリーからハイパーバイザにインポートするのに適した圧縮OVF形式の仮想マシンイメージとして配布されます。Cisco Businessダッシュボードでサポートされている VMWare ハイパーバイザは次のとおりです。

- ESXi バージョン 6.0 以降
- Fusion バージョン 11.5 以降
- Workstation バージョン 15.1 以降

Cisco Businessダッシュボードプローブに必要なコンピューティングリソースは次のとおりです。

- CPU : 64 ビット インテル アーキテクチャ x 1
- メモリ : 512 MB
- ディスク領域 : 5 GB

Cisco Businessダッシュボードプローブは Web ユーザ インターフェイスを通じて管理されません。このインターフェイスを使用するには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Apple Safari (MacOS のみ) : 2 つの最新メジャーバージョン
- Google Chrome : 最新バージョン
- Microsoft Edge : 2 つの最新メジャーバージョン
- Mozilla Firefox : 最新バージョン

Cisco Businessダッシュボードプローブは、次の要件を満たしているネットワーク デバイスを監視し、それらにアクセスします。

- Probe を実行している PC と同じサブネットに存在するか、管理対象デバイスに直接接続され、TCP/IP を介して到達可能である必要があります。

- Cisco Business または Cisco Small Business 100 ～ 500 シリーズデバイスである必要があります。



## 第 2 章

# Cisco Business Dashboard のインストール

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Business Dashboard ソフトウェアの取得および検証 \(7 ページ\)](#)
- [VMWare への Cisco Business Dashboard のインストール \(7 ページ\)](#)

## Cisco Business Dashboard ソフトウェアの取得および検証

Cisco Business ダッシュボードは、VMWare 製品ファミリーからハイパーバイザにインポートするのに適した、Distributed Management Task Force のオープン仮想化フォーマット (OVF) にパッケージ化された仮想マシンイメージとして配布されます。この仮想マシンイメージには、Cisco Business ダッシュボードプローブ アプリケーションも含まれており、特定サイトに対して 1 つの VM で Dashboard と Probe の両方を動作させることができます。仮想マシンイメージを取得するには、<https://www.cisco.com/jp/go/cbd-sw> にアクセスしてください。

仮想イメージマシンにはシスコで暗号化署名がなされており、ソフトウェアが改ざんされていないことが保証されています。オープン仮想化フォーマットのイメージには暗号化署名のためのメカニズムが明確に定義されており、ハイパーバイザの大半は、インポートプロセスの一環で署名を検証します。署名が無効な場合はインポートが失敗し、エラーが生成されます。

インポートする前に署名を手動で検証する場合は、**VMWare OVF ツール**などのツールを利用できます。OVF ツールは、VMWare の Web サイトから無料でダウンロードできます。ダウンロードリンクを含む詳細については、<https://www.vmware.com/support/developer/ovf/> [英語] を参照してください。**OVF ツール**を利用してイメージを検証する場合は、`ovftool image_filename` コマンドを使用します。署名が無効な場合は、ツールでエラーが生成されます。

## VMWare への Cisco Business Dashboard のインストール

Cisco Business ダッシュボード ソフトウェアを取得して検証したら、次の手順でインストールできます。

1. 仮想マシンをホストできる、稼働中の VMWare 仮想環境があることを確認します。環境設定のサポートについては、ご使用の製品に関する VMWare のマニュアルを参照してください。開始するにあたって次のリンクが役に立ちます。

- VMWare Workstation の場合 : <https://docs.vmware.com/en/VMware-Workstation-Pro/index.html>
  - VMWare Fusion の場合 : <https://docs.vmware.com/en/VMware-Fusion/index.html>
  - VMWare vSphere の場合 : <https://docs.vmware.com/en/VMware-vSphere/index.html>
2. 仮想マシンをインポートするための手順を確認するには、ご使用の製品に関する VMWare のマニュアルを参照してください。たとえば、VMWare Fusion を使用している場合は、**VMWare Fusion** アプリケーションを開き、[ファイル (File)]>[インポート... (Import...)] を選択して、プロンプトに従います。
  3. ダウンロードした ova ファイルをローカルディレクトリから選択し、インポートプロセスを続行します。
  4. 新たに作成した仮想マシンのネットワーク インターフェイスが、ホスト マシン上の正しい物理インターフェイスに接続されブリッジされていることを確認します。
  5. 仮想マシンを起動します。

仮想マシンが起動し、自動的に Cisco Business ダッシュボード アプリケーションを開始します。アプリケーションの利用方法および初期設定方法の詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。



## 第 3 章

# Cisco Business Dashboard Probe のインストール

Cisco Business ダッシュボードプローブのインスタンスは、管理対象のネットワーク内のサイトごとに必要です。Probe はネットワークを検出し、検出したデバイスからパフォーマンスおよび設定データを収集して Dashboard にその情報をレポートします。

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Business Dashboard Probe ソフトウェアの取得および検証 \(9 ページ\)](#)
- [VMWare への Cisco Business Dashboard Probe のインストール \(10 ページ\)](#)

## Cisco Business Dashboard Probe ソフトウェアの取得および検証

Cisco Business ダッシュボードプローブは、VMWare 製品ファミリーからハイパーバイザにインポートするのに適した、Distributed Management Task Force のオープン仮想化フォーマット (OVF) にパッケージ化された仮想マシンイメージとして配布されます。Probe も Cisco Business ダッシュボードの仮想マシンイメージに含まれており、特定のサイトに対して 1 つの VM で Dashboard と Probe の両方を動作させることができます。Cisco Business ダッシュボードプローブソフトウェアを取得するには、<https://www.cisco.com/jp/go/cbd-sw> にアクセスしてください。

仮想イメージマシンにはシスコで暗号化署名がなされており、ソフトウェアが改ざんされていないことが保証されています。オープン仮想化フォーマットのイメージには暗号化署名のためのメカニズムが明確に定義されており、ハイパーバイザの大半は、インポートプロセスの一環で署名を検証します。署名が無効な場合はインポートが失敗し、エラーが生成されます。

インポートする前に署名を手動で検証する場合は、VMWare OVF ツールなどのツールを利用できます。OVF ツールを利用してイメージを検証する場合は、`ovftool image_filename` コマンドを使用します。署名が無効な場合は、ツールでエラーが生成されます。

# VMWare への Cisco Business Dashboard Probe のインストール

Cisco Businessダッシュボードプローブ ソフトウェアを取得して検証したら、次の手順でインストールできます。

1. 仮想マシンをホストできる、稼働中の VMWare 仮想環境があることを確認します。環境設定のサポートについては、ご使用の製品に関する VMWare のマニュアルを参照してください。開始するにあたって次のリンクが役に立ちます。

- VMWare Workstation の場合：<https://docs.vmware.com/en/VMware-Workstation-Pro/index.html>
- VMWare Fusion の場合：<https://docs.vmware.com/en/VMware-Fusion/index.html>
- VMWare vSphere の場合：<https://docs.vmware.com/en/VMware-vSphere/index.html>

2. 仮想マシンをインポートするための手順を確認するには、ご使用の製品に関する VMWare のマニュアルを参照してください。たとえば、VMWare Fusion を使用している場合は、VMWare Fusion アプリケーションを開き、[ファイル]>[インポート...]を選択して、プロンプトに従います。
3. ダウンロードした ova ファイルをローカルディレクトリから選択し、インポートプロセスを続行します。
4. 新たに作成した仮想マシンのネットワーク インターフェイスが、ホスト マシン上の正しい物理インターフェイスに接続されブリッジされていることを確認します。

Cisco Businessダッシュボードプローブ のネットワーク インターフェイスは、1つ以上のネットワーク デバイス用の管理インターフェイスが含まれている VLAN に接続されている必要があります。Probe が1つ以上のネットワーク デバイスに直接接続されていない場合、ネットワークを完全に検出できません。

5. 仮想マシンを起動します。

仮想マシンが起動し、自動的に Probe アプリケーションを開始します。アプリケーションの利用方法および初期設定方法の詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。